令和６年度　事業報告書

社会福祉法人　希桜会

法人全体

【基本理念】

「人と地域の暮らしを豊かにする」

【事業報告概要】

１）法人の業務監理体制を強化するため、人事・処遇等の諸規程の見直しを実施した。
２）人材採用については、新卒採用ができず職員の補填にはインターネットを通じた募集活動、人材紹介会社を利用したが、求人には苦慮した。
３）災害時等の業務を継続的に行うための計画である、BCP（業務継続計画）を全施設で作成した。

【令和６年度における重点項目に対しての評価】

	重点項目	評価
１．	質の高い福祉サービス	利用者への接遇態度、言葉遣い、サービス内容に関する情報を徹底するための職員教育、施設内外研修による資質の向上を図ることに努めた。
２．	雇用の安定・人材育成	第１期の技能実習生は着実に介護知識・技能を身に着け成長著しい。今後も外国人技能実習生の継続的な受け入れを行なっていく予定である。また、採用後３年未満（特に１年未満）の職員に対し座学と OJT を取り混ぜながら研修を行ってきたが、年度途中の退職もあり定着には繋がらず、次年度への持ち越し課題となった。
３．	財務の安定	・法人本部を中心とした事務管理体制を強化し、各事業所の実態に合わせた効率的な雇用形態および人員配置を実施してきたが、年度途中の退職者・離職者により短期的な派遣職員の補填やそれに伴う臨時的な出費もあった。また、職員の力量に左右される様な収支の状況にも課題を残す結果となった。 ・施設長、管理者で構成する「施設長会議」を定期的に開催し、現状把握と経営課題の分析、改善を目指す取り組みをおこなってきたが、現場では積極的に指導力を発揮している管理者が会計となると未だ苦手意識が見られる。
4.	運営状況の報告および 事業所間の連携	定期的な施設長会議を継続し、各事業所でおこっている問題の解決、施設間の連携・強化を図ることは概ねできた

		が、介護支援専門員、リーダークラス、看護職員等の施設間での情報交換の場を設けることができなかった。次年度は定期的に開催できるよう取り計らう。
5.	経営方針書の策定	経営方針の具体的なプランを策定し、管理者として業務の改善、経営の効率化を常に意識するよう努めることを当初の目標としたが、介護事業所の施設長、小多機の管理者の退職等、その後の後継者が決まらず、経営方針書策定が時期的に間に合わなかった。
6.	危機管理システムの強化	新型コロナウイルス感染防止の取り組みを継続して実施した。また、災害時や感染症発生時における事業継続のための計画（BCP）を全施設で策定してはいるが、適切な見直しと訓練実施体制には課題を残している。

ケアハウス サニー秋桜事業報告書

【総括】

今年度はコロナ禍で中止になっていた入居者懇談会を実施し、入居者からの意見・要望・苦情等自由に発言して頂いた。質問や要望等について回答できる部分はその場でおこない、検討する課題については、後日職員間で話し合い、入居者には開示・回答・説明をおこない周知を図った。日々の修繕、相談事に対しても速やかに対応できるよう心掛けた。

また、ご家族、親族、知人にも「積極的に紹介できる施設づくりをしていこう」という意識を持って職員一同取り組んだことで、「ここに来て良かった、知人にもここの施設を紹介した」との声を頂けた。今後とも快適な生活環境を継続的に提供することができ、楽しみや充実感を共有していけるよう努めていきたい。

Ⅰ．目標に対しての評価

（１）入居者の日常生活に対する取組み

①　健康管理

入居者フェースシートの更新、服薬情報の管理、日常の身体状況を詳細に記録した業務日誌等を職員間で共有することにより、病気の早期発見早期受診を勧めるなど健康管理を図った。また、ケアマネ・家族との連携を密にして対応した。

②　生活支援

要支援、要介護の入居者については、介護サービスを利用しながら自立した生活を継続していけるよう支援した。また、身体機能の低下や認知の進行などにより、ケアハウス内での生活が困難になった入居者の受入先については、本人・ご家族の意向を聞きながらケアマネと連携し、施設などの情報提供に努めた。

③　食事

給食委託業者との協力により、毎日のように「美味しかった」「盛り付けが素敵」「初めて食べた献立だったけれどとても美味しく頂けた」「季節感のある旬のものを食べることができて嬉しい」等の意見が多く寄せられた。よく食べて食事を楽しみにしている入居者が増えた。定期的な「リクエスト食の日」・「お弁当の日」なども好評であった。

④　年間行事・レクリエーション

今年度はレクリエーション等で入居者同士の「懇談の場」を多く設けたことによって、お互いの親睦を深め、入居者間の交流が活発になった。

	行事	レクリエーション 介護予防運動	映画
４月		・ジグソーパズル	

5月	端午の節句	・ジグソーパズル ・太鼓の達人ゲーム	「今日も嫌がらせ弁当」
6月	スイーツカフェ		「あぶない刑事」
7月	七夕飾り	・スムージーづくり ・太鼓の達人	「俺物語」
8月		・ジグソーパズル ・かき氷　～熱中症予防～ ・雑巾づくり	
9月	長寿を祝う会	・ジグソーパズル ・カルピス　～熱中症予防～	「科捜研の女」
10月	コーヒーの日	・カルピス　～熱中症予防～ ・ジグソーパズル	
11月		・ジグソーパズル ・クリスマスリースづくり	「あまろっく」
12月	クリスマスカフェ	・クリスマス小物のかぎ針編み	「恋は50を過ぎても」
1月	新年会	・書初め ・ジグソーパズル	
2月	冬至　ゆず湯		「サムライ先生」
3月	ひな祭り	・ジグソーパズル ・ジェンガで遊ぼう	「こんにちは母さん」
その他	毎日：ラジオ体操 週１回：かえで喫茶 OPEN		

（２）感染症予防対策

入居者には「アルコールによる手指の消毒・共用スペースでのマスクの着用」を継続的に行うよう喚起し、施設では毎日の消毒作業等感染症対策に取り組んだ結果、インフルエンザ、コロナウイルスなどの集団感染を防止することができた。

（３）防災対策計画（４）職員の取り組み

月	内容	月	内容
4月	定期処遇会議 身体拘束・虐待防止	10月	定期処遇会議 身体拘束・虐待防止
5月	定期処遇会議 給食会議	11月	定期処遇会議 給食会議

６月	定期処遇会議 感染症 BCP 訓練	12 月	定期処遇会議 感染症
７月	定期処遇会議 身体拘束	１月	定期処遇会議 身体拘束
８月	定期処遇会議 給食会議 消防研修	２月	定期処遇会議 給食会議
９月	定期処遇会議 感染症・事故防止	３月	定期処遇会議 感染症・事故防止 BCP 訓練・避難訓練

（５）施設設備・環境整備

①　施設安全・衛生管理

項目	実施月
自動ドア点検	４月　10 月
エレベーター点検	遠隔点検：毎月 年次定期点検：８月
電気工作物	毎月　　年次点検：４月
ボイラー保守点検	５月　11 月
消防点検	６月　12 月
貯水槽清掃・水質調査	７月
害虫駆除・館内清掃	７月　12 月（館内清掃）

②　設備・備品の入れ替え

厨房	ガス給湯器取替 給湯管新設工事
浴室	貯湯槽の循環ポンプ取替（1.2 号機） ダクトファン交換（男女浴室）
共有部	洗濯機（２台）乾燥機（１台）

（６）経営

基礎疾患等の悪化による入院や認知・身体機能の低下による他施設への転所など入居者の入れ替わりが激しかったが、年間稼働率 100%を目指し達成することができた。

年間入退去者数　　※月初既在者

令和６年度入居稼働率	入居者数	退去者数
100%	８人	７人

Ⅱ．入居者状況報告

（１）入院・事故報告他

事項	件数	備考
入院件数	11	外傷性クモ膜下出血　血栓性脳梗塞他
救急搬送	7	転倒　他
事故報告書（千葉市）	4	
苦情に関する受付	2	入居者間他
給食業務に係る事故報告	3	異物混入、納品ミス

（２）介護保険サービス別利用状況

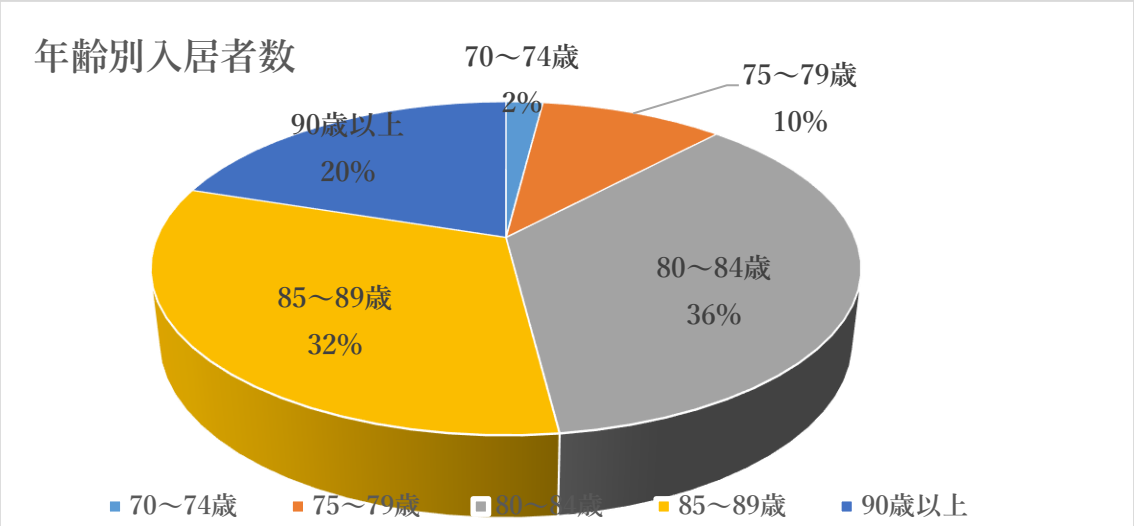
サービスの種類	利用件数
訪問介護	16
訪問看護（訪問リハビリ含）	4
通所介護（デイサービス）	10
通所リハビリテーション	7
訪問診療	2
福祉用具貸与	11
計	50

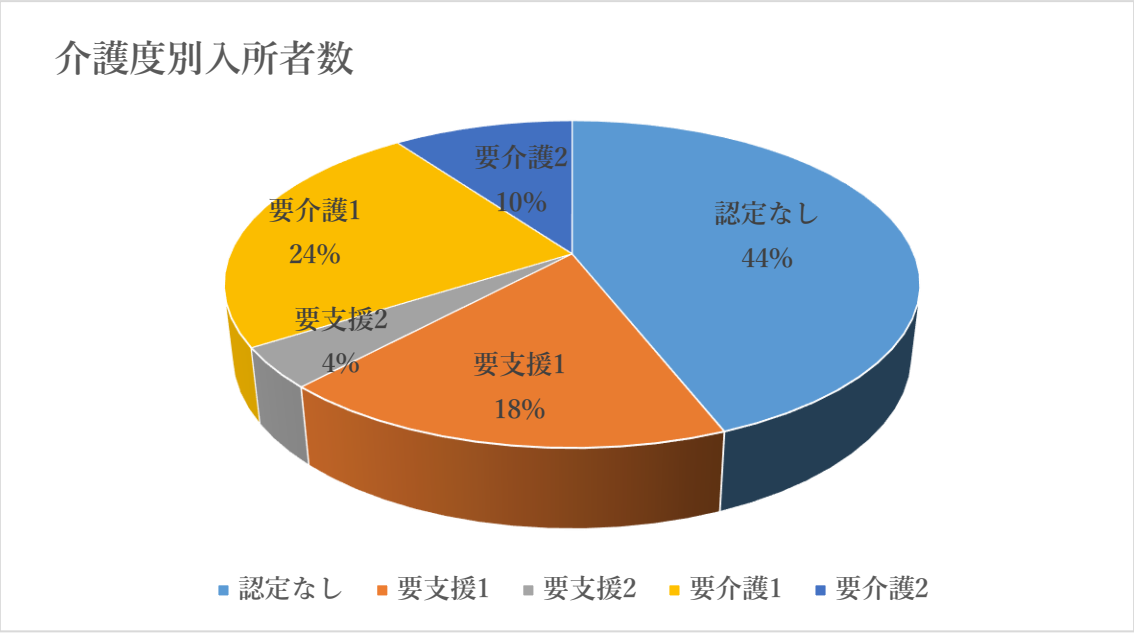
（３）年齢別入居者数

年齢別	人数	比率
65～69 歳	0	0%
70～74 歳	1	2%
75～79 歳	5	10%
80～84 歳	18	36%
85～89 歳	16	32%
90 歳以上	10	20%
合計	50	100%
平均年齢	85	

（４）介護度別入居者数

	人数	比率
認定なし	22	44%
要支援 1	9	18%
要支援 2	2	4%
要介護 1	12	24%
要介護 2	5	10%
要介護 3	0	0%
合計	50	100%


年齢別入居者数
70～74歳
2%
75～79歳
10%
80～84歳
36%
85～89歳
32%
90歳以上
20%
70～74歳
75～79歳
80～84歳
85～89歳
90歳以上


介護度別入所者数
認定なし
44%
要支援1
18%
要支援2
4%
要介護1
24%
要介護2
10%
認定なし
要支援1
要支援2
要介護1
要介護2

地域密着型特別養護老人ホーム　きさらぎ荘

小規模多機能型居宅介護事業所　うめの香

【総括】

■　きさらぎ荘

入居者の生活歴や個性を反映したケアを計画的に実施し、職員間で情報共有を行い、居室の環境や日課の工夫により、入居前の生活との連続性を確保した結果、入居者アンケートでは「安心して過ごせる」などの肯定的な評価を多数頂いた。

■　うめの香

通い・訪問・宿泊サービスを組み合わせ、利用者の生活リズムや希望に応じた柔軟な支援を実施した結果、在宅継続支援率が前年度より向上し、ご家族からも満足度の高い評価を頂けた。

令和６年度は感染対策を継続しながら、利用者の支援と地域交流を両立できた一年であった。次年度への課題として、利用者の個別支援計画の質を向上させ、宿泊サービス利用の効率化を図れるようにする。また、地域とのさらなる協働イベントを企画し、より一層「地域に開かれた施設」として、安心・信頼・連携を深める運営を目指していく。

Ⅰ．目標に対しての評価

（１）情報共有

申し送りの記録を統一し、ICT の活用でリアルタイムな情報共有を推進した。ご家族との情報連携も定期的に行い、信頼関係構築に繋げることができた。

（２）接遇マナー

接遇研修を年２回実施し、新人職員への OJT も継続した結果、苦情やトラブルの件数が減少した。

（３）感染症・防災防犯

BCP 策定、訓練を実施した。感染症予防としてマスクの着用・消毒の徹底を継続的におこない、クラスターなどの発生を防ぐことができた。

（４）事故・苦情対策

ヒヤリハットの報告数が増え、事故件数は前年度より減少し、職員の意識向上が見られた。苦情に関しては、早期の受付・丁寧な対応を心掛けたことにより重大化を回避することができた。

（５）地域交流と情報発信

ハーモニカ演奏、尺八などを定期的に実施し、改装した中庭の開放も好評であった。

＜行事・研修・委員会＞

月	主な行事	委員会活動	研修内容
４月	お花見 N 高校吹奏楽部演奏会	感染症防止委員会 身体拘束・虐待防止	身体拘束防止、医療行為 （外部）
５月	端午の節句		食中毒
６月	尺八演奏会 ハーモニカ演奏会	感染症防止委員会	
７月	夏カフェ フラダンス	感染症防止委員会 身体拘束・虐待防止	ハラスメント対策 他
８月	納涼祭 お琴演奏会		事故防止・BCP
９月	敬老祭 アコーディオン演奏会		食事介助
10 月	ボッチャ大会 M 高校合唱部演奏会	身体拘束・虐待防止 感染症防止委員会	身体拘束・虐待防止 ストレスマネジメント
11 月	花火大会		ターミナルケア
12 月	クリスマス会 やきいも会 アコーディオン演奏会 トーンチャイム演奏会		感染症対策 （インフル・ノロ等）
１月	鏡開き・餅つき大会	身体拘束・虐待防止	認知症の理解と 精神的ケア
２月	バレンタインデー 節分	感染症防止委員会	事故防止・BCP
３月	桃の節句	身体拘束・虐待防止	緊急時対応
通年	体操 お誕生会 演奏会（ボランティア） 訪問理容・美容	各種委員会	介護指導者養成 （外部）など

地域密着型特別養護老人ホーム　みやのぎ荘

小規模多機能型居宅介護事業所　たちばな倶楽部

【総括】

■　みやのぎ荘

入居者の精神的・身体的変化に日々注意を払い、早期対応により入院の長期化を防ぐことができた。

■　たちばな倶楽部

通い・訪問・宿泊、三つのサービスを柔軟に組み合わせ、利用者の在宅生活継続の支援に注力した結果、利用者及びご家族から「頼れる施設」として評価され、在宅支援の継続率も向上した。

令和６年度は、介護保険制度改正への対応とともに、職員の労働環境改善と業務効率化を進めることができた。次年度への課題として夜勤体制と見守り機器の導入による安心・安全の強化を図り、職員教育・研修体制の強化とキャリア形成の支援に努める。また、コロナ禍以降途絶えていた地域住民との交流の機会や季節行事や催し物などの段階的な再開を果していきたい。

Ⅰ．目標に対しての評価

（1）介護保険法改正への対応

介護保険法改正に伴い、職員会議や研修を通じて改正内容を丁寧に説明し、制度への理解を深めた。特に身体拘束、高齢者虐待防止に関しては研修・指導を積み重ねてきた。また、各種マニュアルの見直しを行い、現場での体制を整えることができた。

（2）労働環境の向上

OJT 体制の強化により、新人職員の定着とともに、全体の介護技術底上げにも繋がった。

（３）職員の離職防止

管理職やユニットリーダーによる定期的な面談やフィードバックの機会を設けることで、職員の意見や思いを反映した職場環境の改善に努めたが、離職者が多数でたことで次年度への持ち越し課題となった。

（４）事故防止対策

ヒヤリハットの報告を積極的に促し、事故防止委員会による検証と再発防止策を徹底させた。また、現場での介助方法の再確認や技術の共有を図った。

＜行事・研修・委員会＞

月	主な行事	委員会活動	研修内容
４月	お花見	身体拘束・ 虐待防止委員会	身体拘束防止・虐待防止
５月	端午の節句		認知症について
６月	尺八演奏会 ハーモニカ演奏会	事故防止委員	事故防止
７月	夏カフェ フラダンス	感染症防止委員会	感染症対策
８月	納涼祭		BCP
９月	敬老祭		食中毒について
10 月		身体拘束・虐待防止 感染症防止委員会	身体拘束・虐待防止
11 月			ターミナルケア
12 月	クリスマス会	事故防止委員会	事故防止
１月	鏡開き		BCP
２月	節分	感染症防止委員会	感染症
３月		身体拘束・虐待防止 委員会	事故防止
通年	お誕生会、体操など	各種委員会	

地域密着型特別養護老人ホーム

（きさらぎ荘・みやのぎ荘）

Ⅱ．　入居者利用状況

（１）年間延べ利用人数

	きさらぎ荘	みやのぎ荘
稼働率	95.5%	96.5%
年間延利用者数	10,116 人	10,212 人
入院及び空床件数	469 床	373 床
一日平均利用者数	28 人	28 人

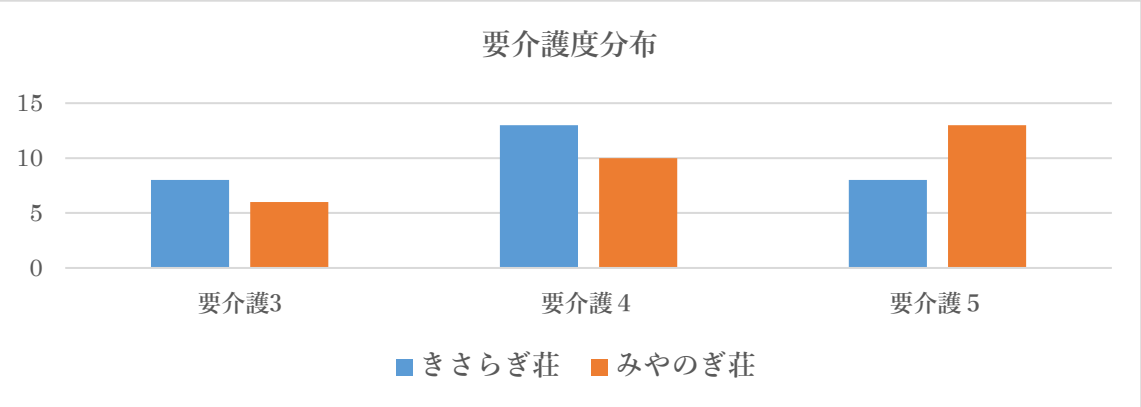
（２）入退去者数

	きさらぎ荘	みやのぎ荘
退去者数	4 名	4 名
入居者数	5 名	5 名
入院件数	23 件	2 件
看取り件数	2 件	2 件

（３）要介護度分布

（単位：人）

	要介護 3	要介護 4	要介護 5
■きさらぎ荘	8	13	8
■みやのぎ荘	6	10	13



Ⅲ.　事故発生状況

（単位：件）

	きさらぎ荘		みやのぎ荘	
	令和６年度	令和５年度	令和６年度	令和５年度
転倒・転落	14	10	26	20
服薬関係	6	13	18	7
誤嚥	2	3	0	0
表皮剥離・外傷	19	33	30	15
ずれ落ち	0	1	0	0
施設離脱	0	2	0	0
その他	32	13	0	13
合計	43	75	74	55
ヒヤリハット	73	100	86	45

Ⅳ.苦情報告

	件数	摘要
きさらぎ荘	０件	
みやのぎ荘	１件	施設対応について

小規模多機能型居宅介護事業所

（うめの香・たちばな倶楽部）

Ⅱ．　利用者状況

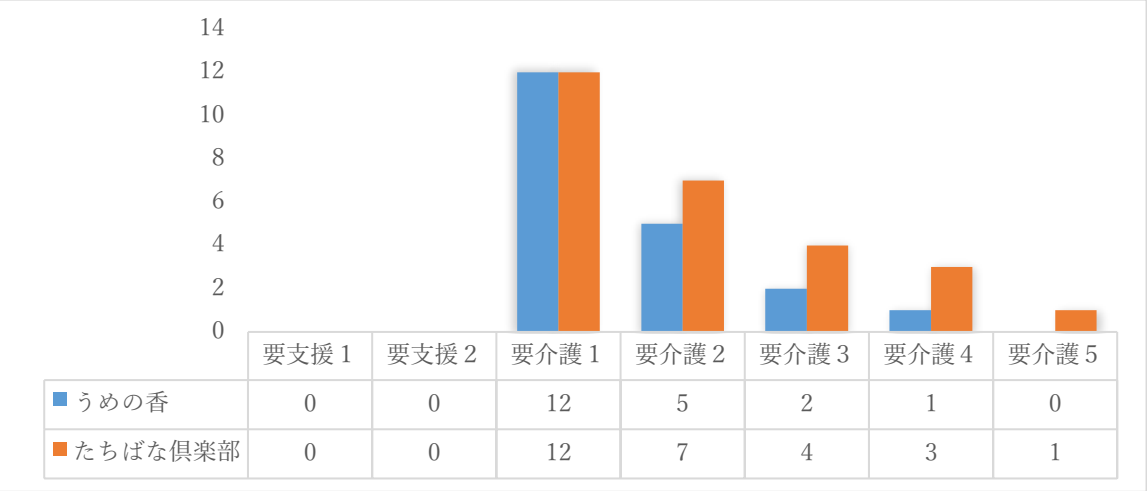
（１）　年間延べ利用人数

	うめの香	たちばな倶楽部
稼働率	90%	90.7%
平均利用者数	26 人	26.5 人
宿泊利用者数	月間平均 83 人/1 日 2.7 人	月間平均 153 人/1 日 4.9 人
デイ利用者数/1 日	10.6 人	12.6 人
訪問利用者数/1 日	7.2 人	11.2 人

（２）サービス別利用割合　　（単位%）

サービス区分	通い	訪問	宿泊	全体
うめの香	47	41	12	100
たちばな倶楽部	44	40	16	100

（３）要支援・介護度別分布　　（単位：人）



Ⅲ. 事故報告

（単位：件）

	うめの香		たちばな倶楽部	
	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
転倒・転落	12	6	10	9
服薬関係	9	18	0	0
誤嚥	3	1	0	0
表皮剥離・外傷	4	8	1	1
ずれ落ち	0	0	0	0
施設離脱	3	2	0	0
その他	11	11	3	2
合計	42	46	14	12
ヒヤリハット	54	84	23	6

Ⅳ. 運営推進会議の開催報告

	うめの香	たちばな倶楽部
開催回数	4 回	5 回